

2024年2月19日 月曜朝会「受験お疲れ様」「雨水」

みなさんおはようございます。

今日は、久しぶりに全校が揃った朝会です。

まずは6年生の皆さん、中学入試お疲れさまでした。

北海道でのスキー学校もお疲れ様でした。引率の先生方もありがとうございました。

6年生の受験を、在校生みんなで応援していました。

さて、一人ひとりの中学入試はどうだったでしょうか？

大成功だったといえる人、残念な気持ちが残った人、色々だと思いますが、入学試験ですから、必ず全員がその学校に合格することはありません。受かる人もいれば落ちる人もいます。それが入試です。そのために、十分な志望校選びをして、試験に臨んできたのだと思います。色々な思いがあると思いますが、皆さんに考えて欲しいことがあります。それは、この受験で人生が決まるのではないということです。人は成長していく過程で、沢山の選択枝を選びながら生きていくのです。皆さんで言うと中学入試や高校入試、更には、理科系へ進むのか、文科系に進むのか、そして大学入試や就職試験など、まだまだ沢山の選択枝がこれから皆さんの前に現れてきます。自分にとっての最良の選択はなんであるのか、それを見極める力を持って進んで欲しいと思っています。

中学入試はあくまで一つの選択枝。ですから、自分が選んだ選択に胸を張って進んで欲しいと思っています。

今日は二十四節気の「雨水」と言います。この日を境にして、空から落ちてくる水分は、雪や氷から雨に変わってくると言われています。確かにこの数日は春真っ盛りの温かさでした。なんとなく調子がくるってしまうくらい、暖かかったです。

まだまだ、寒い日が来ると思いますが、「三寒四温」と言って、一日一日、一雨ごとに春に向かって季節が動いていきます。

六年生は卒業式に向かっていきますが、全員で今年度の有終の美を飾るつもりで残り一か月を頑張っていきましょう。

